

「アスベスト含有調査等業務（腰浜宿舎外2件）【全国】」仕様書

1 業務の目的

日本年金機構が所有する建物（工作物を含む。）についてアスベストの目視調査を実施したところ、石綿含有の可能性のある建材等の使用が判明したため、検体採取のうえアスベスト含有の調査を行うとともに、対象建物の施設敷地境界等での環境大気中アスベスト測定を行うことを目的とする。

2 調査概要

(1) アスベスト含有調査

① 業務場所及び調査対象建物

ア 腰浜宿舎

・業務場所：福島県福島市腰浜町 19-16

用途	構造	新築年	床面積 (m <sup>2</sup> )	備考
共同 住宅	鉄筋コンクリート造 陸屋根 3階建	平成 10 年 10 月 28 日	1階	部屋数 9戸
			170.26	
			2階	
			164.56	
			3階	
			164.56	

イ 中新町宿舎

・業務場所：岐阜県岐阜市中新町 21

用途	構造	新築年	床面積 (m <sup>2</sup> )	備考
共同 住宅	鉄筋コンクリート造 スレート葺 3階建	昭和 62 年 2 月 28 日	1階 237.54	部屋数 12戸
			2階 237.54	
			3階 237.54	

ウ 幕張宿舎

・業務場所：千葉県千葉市花見川区幕張町 5 丁目 544-22

家屋 番号	用途	構造	新築年	床面積 (m <sup>2</sup> )	備考
544 番	共同 住宅	鉄筋コンクリート 造陸屋根 4階建	昭和 44 年 3 月 25 日新築	1階 283.88	部屋数 24戸

22 の 2				2 階 283.88 3 階 283.88 4 階 283.88	
544 番 22 の 3	共同 住宅	鉄筋コンクリート 造陸屋根 4 階建	昭和 45 年 3 月 31 日新築	1 階 283.88 2 階 283.88 3 階 283.88 4 階 283.88	部屋数 24 戸
544 番 22 の 4	共同 住宅	鉄筋コンクリート 造陸屋根 4 階建	昭和 47 年 3 月 15 日新築	1 階 283.88 2 階 283.88 3 階 283.88 4 階 283.88	部屋数 24 戸

## ② 業務内容

### ア. 調査箇所

次の各項目について、下記イ及びウの内容に注意して調査及び補修を実施すること。

- a. 別添「必要箇所一覧」において指定する調査箇所について現地において試料採取の上、専門分析機関にて定性・定量分析調査を行うこと。  
ただし JISA1481-1 で実施する場合は推定定量値まで記載することで定量分析は不要とする。
- b. 分析調査の検体数は、別添「必要箇所一覧」記載の検体とする。
- c. 試料採取箇所について、適切な方法にて補修を行うこと。

### イ. 分析調査

各建物少なくとも 1 箇所のサンプルを採取（サンプル採取箇所を図示する。）し、定性分析を行うこと。なお、定性分析は「石綿障害予防規則第 3

条第2項の規定による石綿等の使用の有無の分析調査の徹底等について」  
(令和5年1月11日改正)並びに「JISA1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)」または「JISA1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性的分析方法)」により行うこと。

(分析調査における条件)

- ・ 含有の有無を調査すべきアスベストは、アクチノライト、アンソフィライト、アモサイト、クリソタイル、クロシドライト及びトレモライトの6種類とする。
- ・ 試料採取にあたっては、アスベスト含有の可能性があるため、周囲への粉塵飛散について十分留意すること。
- ・ 検体の採取後は飛散防止剤の塗布等の必要な補修作業(簡易補修を含む。)を行うこと。

ウ. 飛散性の有無及び対策工事について

分析調査の結果、アスベストの存在が確認された場合は、現状における飛散性の有無及び対策工事の必要性について調査を行うこと。また、必要性がある場合は、その対策方法の提案を行うこと。

③ アスベスト調査報告書(様式は任意とする。)

次の内容が分かる「調査報告書」を作成すること。

- ア 調査箇所、調査対象建材及びアスベスト含有の有無
- イ 調査箇所が分かる図面及び写真
- ウ アスベスト含有の有無を判断した根拠
- エ 分析調査の結果

(2) 環境大気中のアスベスト測定

① 業務場所および調査対象建物

(1) ①ア、イ、ウのとおり

② 業務内容

大気中のアスベスト測定

試料採取・測定方法は以下のとおりとする。なお、試料採取にあたって電源が必要な場合は、受託者が用意するものとする。

アスベストモニタリングマニュアル(4.2版)(環境省水・大気環境局大気環境課、令和4年3月)に準拠すること。

ただし、アスベストモニタリングマニュアルによる分析においては、総繊維数1本/Lを超えた場合、電子顕微鏡法(SEM)を行う必要があるが、SEMに

よる分析は当業務には含めない。

SEMによる分析が必要となる場合、「(5) イ納品先担当部署」に報告を行うこと。

### ③ 試料の数量

アスベストが検出された箇所の周辺(※1)、及び4か所(※2)

(※1) 特に外壁の劣化・剥落している箇所について重点的に行うこと。

(※2) 原則、敷地境界地点付近の東西南北4か所とするが、施設周辺の環境、地形等により困難が伴う等の場合には、「(5) イ 納品先担当部署」に相談し、確認のうえ実施すること。

### ④ 調査事項

アスベスト使用の状況等について

ア 飛散性、非飛散性の別

イ 粉塵の発散の状況

ウ 除去、囲い込み等の措置の必要性

エ 当該建物等の管理に留意する必要がある事項

## (3) 履行期限等

### ① 履行期限

令和8年7月31日まで

(契約期間：令和8年5月20日～令和8年8月31日)

### ② 資格要件

調査にあたっては、以下のア、イそれぞれにいずれかの資格を有する必要がある。

ア・特定建築物石綿含有建材調査者(特定調査者)

・一般建築物石綿含有建材調査者(一般調査者)

・2023年9月30日以前に(一社)日本アスベスト調査士診断協会に登録されている者

イ・石綿障害予防規則第3条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める者等(令和2年厚生労働省告示第277号)の分析調査講習を受講し、修了考査に合格した者。

・公益社団法人日本作業環境測定協会が実施する「石綿分析技術の評価事業」により認定されるAランク若しくはBランクの認定分析技術者又は定性分析に係る合格者。

・一般社団法人日本環境測定分析協会が実施する「アスベスト偏光顕微鏡実技研修(建材定性分析エキスパートコース)修了者」

・一般社団法人日本環境測定分析協会に登録されている「建材中のアスベスト

定性分析技能試験（技術者対象）合格者」

- ・一般社団法人日本環境測定分析協会が実施する「アスベスト分析法委員会認定 JEMCA インストラクター」
- ・一般社団法人日本繊維状物質研究協会が実施する「石綿の分析精度確保に係るクロスチェック事業」により認定される「建築物及び工作物等の建材中の石綿含有の有無及び程度を判定する分析技術」の合格者

### ③ 再委託

- ア 受託者は、受託業務の全部又は受託業務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分を第三者に再委託することは不可とする。
- イ 受託業務の一部を再委託する場合は、契約額の2分の1未満とすること。
- ウ 受託者が受託業務の一部を再委託する場合は、あらかじめ再委託の相手方の商号又は名称及び住所並びに再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額について記載した「再委託に係る承認申請書」を「(5)イ納品先担当部署」に提出し、日本年金機構の承認を受けること。
- エ 再委託の相手方からさらに第三者に委託を行うことは不可とする。
- オ 第三者に再委託する場合は、その最終的な責任を受託者が負うこと。
- カ 受託者は、知的財産権等に関して本仕様書が定める受託者の責務を再委託先業者も負うよう必要な処置を実施し、日本年金機構に報告し、承認を受けること。

### ④ 業務完了報告書

受託者は業務完了後すみやかに、業務完了報告書（様式1）を作成し、履行期限内に「(5)イ納品先担当部署」へ提出しなければならない。

### ⑤ 特記事項

- ア 着手にあたっては、施工計画書及び工程表を事前に提出し監督職員と打合せを行うこと。
- イ 本委託の履行にあたっては、関係する諸法令を遵守すること。
- ウ 調査対象建物は現在使用しておらず、電気も通っていない箇所も有り、昼間でも薄暗いことから、懐中電灯を準備するなど作業に必要な明るさを確保すること。
- エ 本業務に必要な器具、消耗品その他一切の費用は、受託者の負担とすること。
- オ 受託者は、作業実施にあたり事故の無いように安全作業に努めること。
- カ 作業中に発生した事故については、その原因が当局の責に帰すべき場合を除き、受託者がその責任を負うこと。
- キ 受託者は、本業務の履行にあたり、設備又は備品等を損傷させないように留意し、万一、損傷させた場合は、直ちに当局に報告するとともに、受託者の負担において速やかに原状回復を行うこと。

また、作業内容及び移設物件に事故等が発生した場合は、速やかにその内容を報告し、指示を受けること。

- ク 受託者は、本業務の実施に当たって、作業日時、作業内容、作業者氏名、作業者が「(3) 履行期限等②」で定める資格を有することがわかる資料の写し、立ち入り場所、使用車両の車種、第三者へ委託する場合は履行体制等を記載した作業届（様式は任意）を作業日の前日までに提出し承認を受けること。
- ケ 受託者は、調査内容や報告書等関連資料を当該業務に携わる者以外に漏らしてはならない。  
また、業務終了後においても業務に関して知り得た情報については、他に漏らし又は他の目的に使用してはならない。
- コ 調査対象建物の玄関部分はコンパネ等で閉鎖している場合は、調査時に受託者において閉鎖部分を開け、調査終了時に閉鎖すること。
- サ 分析結果が出た時点で、分析速報値として仮報告を行うこと。
- シ 発生材等については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年法律第 137 号）に基づき、受託者の責任において適切に処分する。

#### (4) 貸与資料

調査対象建物の配置図及び既存設計図、定性調査結果等については、受託業者決定後、落札業者に対し貸与することとするが、以下の点について留意しなければならない。

- ・本委託業務以外の目的に使用してはならない。
- ・貸与された設計図書等及びその情報（貸与後に複写したものを含む。）については、紛失・破棄等がないように最善の注意を払うこと。また、委託業務の終了後又は機構から指示のあった場合については、速やかに返還すること。

#### (5) 成果物

##### ア 成果物（紙媒体）

業務完了報告書 3部及びPDFファイル（CDデータ）

※（1）③及び（2）④の項目について盛り込んだものとする。

ただし、報告書（1）①のア、イ、ウはそれぞれ別冊とすること。

##### イ 納品先担当部署

〒168-8505

東京都杉並区高井戸西3丁目5番24号

日本年金機構 会計・資産管理部 管財グループ 井齋・樋口・山下

TEL (03) 5344-1100 内線 6347

FAX (03) 6892-7993

(6) 疑義

本仕様書に定めのない事項及び本仕様書の解釈に疑義が生じた場合は、その都度、監督職員と受託者で協議のうえ決定する。

(7) 質問

仕様書等に関し質問がある場合、令和8年4月28日(火)正午までに「質問書」(任意様式)により、「(5)イ納品先担当部署」宛てに提出すること(FAXの場合、送信後、電話により到着確認を行うこと)。回答については、令和8年4月30日(木)18時00分頃に日本年金機構ホームページにて掲示する予定。

【様式1】

令和 年 月 日

日本年金機構 会計・資産管理部長  
岡部 太 殿

名 称  
代表者氏名

印

### 業務完了報告書

1. 契約件名 アスベスト含有調査等業務（腰浜宿舎外2件）【全国】

2. 納入期限 令和 年 月 日

上記の業務について、令和 年 月 日をもって完了したので報告します。

## 腰浜宿舎分析調査必要箇所一覧

No	建材名	場所
1	コンクリート打（ワイヤーメッシュ3.2φ100×100）同時金ゴテ押さえ、 硬質ウレタン保温板（2種3号）厚30画面アルミ箔付	【外部】屋根
3	防水押え金物	
4	複合断熱材	【外部】外壁
5	床：防水モルタル金ゴテの上、 硬質ウレタン塗床仕上厚1.2	バルコニー
6	立上り壁	
7	隔板	
8	版下	
9	防水モルタルの上、硬質ウレタン塗床	通路
10	立上り	
11	版下	
12	アルコーブ天井	
13	1階床	
14	床：モルタル下地、100角スロープタイル貼り	スロープ
15	壁：コンクリート打放し、複層仕上げ塗材仕上げ	
16	モルタル下地、100角スロープタイル貼り	玄関
17	コンクリート下地、複層仕上げ塗材仕上げ（E：アクリルローラー仕上）	
18	石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
19	LGS（19）下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
20	木製吊木に使用されている接着剤・塗装剤	廊下
21	石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
22	LGS（19）下地@225 耐水石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
23	木製吊木	台所
24	石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
25	防水石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
26	石膏ボード厚9.5下地に使用されている接着剤	
27	LGS（19）下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
28	LGS（19）下地@225 耐水石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
29	LGS（19）下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	和室1
30	LGS（19）下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	和室2
31	木製吊木に使用されている接着剤・塗装剤	洋室
32	石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
33	LGS（19）下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
34	木造下地クッションフロアに使用されている接着剤	便所
35	ビニル吊木に使用されている接着剤	
36	石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
37	LGS（19）下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	

38	木造下地木床組	洗面所
39	ビニル吊木に使用されている接着剤	
40	石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
41	防水石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
42	LGS(19)下地@225 石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	
43	LGS(19)下地@225 耐水石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	浴室
44	コンクリート下地ユニットバス	
45	押入化粧石膏ボード厚9.5に使用されている接着剤	押し入れ
46	モルタル下地モルタル金ゴテ、硬質ウレタン塗り床厚1.2	給水ポンプ室
47	立上げ部分：ウレタン塗	
48	吹付タイル	
49	モルタル下地モルタル金ゴテ、硬質ウレタン塗り床厚1.2	階段室
50	モルタル下地モルタル金ゴテ、硬質ウレタン塗り床厚1.5 ノンスリップ工法	
51	モルタル下地モルタル金ゴテ、硬質ウレタン塗り床厚1.2	
52	コンクリート打放し下地処理複層仕上塗材仕上げ(E:ローラー仕上げ)	
53	コンクリート打放し下地処理内装用薄付仕上塗材仕上げ(S1シリカリシン)	
54	コンクリート金ゴテ押さえウレタン塗り	アンテナ架台
55	コンクリート打金ゴテ仕上げ	ゴミステーション
56	コンクリート打放し	
57	カラー鋼板 厚0.8mm	自転車置き場
58	カラー鋼板	物置
59	ガスカート	受水槽
60	保温材	
61	モルタル仕上げ	PS
62	保温材	
63	保温材	通路
64	保温材	給水ポンプ室
65	タカラスタンダードK-120	キッチン
66	タカラスタンダードKG-60S	
67	タカラスタンダード	
68	クロス張	通路
69	塗装	境界壁
70	パテ	バルコニー

## 中新町宿舎分析調査必要箇所一覧

No	建材名	場所(【部屋名】部位)
1	カラーコロニアル	【外部】屋根
2	吹付タイル	【外部】外壁
3		【外部】庇・軒天
4		【外部階段室】壁
5		【外部階段室】段裏
6		【外部自転車置場】壁
7		【外部ポンプ室】【外壁】
8		モルタル
9	【外部】階段室吊木	
10	【内部】内装風呂天井裏天面	
11	防水モルタル	【外部】庇・天端
12		【外部ポンプ室】屋根
13	シーリング材	【外部】建具廻り
14		【外部】外壁打継目地
15		【外部】自転車置場
16		【ポンプ室 建具廻り】
17	フレキシブルボード	【バルコニー隔て板】
18	防塵塗装	【階段室・床】
19		【ポンプ室・床】
20	仕上塗装	【階段室・手摺】
21	目地材	【階段室・ガラスブロック】
22	クッションフロア①	【内装玄関・ホール踏込】
23	ソフト吊木	【内装玄関・ホール】
24		【内装洗面・洗濯】
25	クロス(下地石膏ボード)	【内装玄関・ホール壁】
26		【内装玄関・ホール天井】
27		【内装居室1 壁】
28		【内装居室2・3 壁】
29		【内装台所・食事室 壁】
30		【内装WC 壁】
31		【内装WC 天井】
32		クロス(下地コンクリート)
33	【内装居室2・3 壁】	
34	【内装台所・食事室 壁】	
35	【内装WC 壁】	
36	化粧石膏ボード(木目)	【内装居室1・2・3 天井】
37	100角陶器質タイル(下地材・接着剤)	【内装台所・食事室 壁】
38	結露防止材	【内装台所・食事室 流し】
39	基材	【内装風呂壁・天井 裏面】
40	ガラス押えシーリング	【内装風呂】
41	クッションフロア②	【内装WC 床】
42	クッションフロア③	【内装 洗面・洗濯 床】
43	耐火シール材	【西棟1階耐火区画貫通部】
44	ガスケット	【ポンプ室 配管】

## 分析調査必要箇所一覧

## 幕張宿舎 1号棟

No.	建材名	場所 (部位)	採取場所
1	仕上塗装	外部 南面	外部 南面
		内部 壁面	1-1-1室
		内部 天井	1-1-1室
2	シーリング材	外部 西面	外部 西面
3	クッションフロア	内部 廊下	1-2-1室
		内部 トイレ	1-1-1室
4	ソフト巾木	内部 トイレ	1-1-1室
5	フロアタイル	内部 洗面所	1-1-2室
6	フレキシブルボード	バルコニー 隔て板	1-1-1室
7	100角陶器質タイル (下地材・接着剤)	内部 浴室	1-1-1室
		内部 キッチン	1-1-1室
8	聚楽塗	内部 天井	1-2-3室
9	保温材	共用部 PS内配管	1-2-5室前
		外部 屋上受水槽配管	屋上
10	ガスケット	外部 給水ポンプユニット	西側外部
		外部 屋上受水槽配管	屋上
		内部 トイレ内配管	1-1-1室
		内部 脱衣所配管	1-1-1室
11	防水材	外部 屋上アスファルト防水	屋上
12	石膏ボード	内部 内装材	1-4-5室
13	ケイカル板	内部 室内天井	1-4-6室
		内部 トイレ天井	1-1-1室
14	断熱材	内部 外壁側ボード内	1-1-1室

## 分析調査必要箇所一覧

## 幕張宿舎 2号棟

No.	建材名	場所 (部位)	採取場所
1	仕上塗装	外部 南面	外部 南面
		内部 壁面	2-1-1室
		内部 天井	2-1-1室
2	シーリング材	外部	外壁
3	クッションフロア	内部 廊下	2-1-1室
		内部 トイレ	2-1-1室
4	ソフト巾木	内部 トイレ	2-1-1室
5	フレキシブルボード	バルコニー 隔て板	2-2-1室
6	100角陶器質タイル (下地材・接着剤)	内部 浴室	2-1-1室
		内部 キッチン	2-1-1室
7	保温材	共用部 PS内配管	2-1-1室前
		外部 屋上受水槽配管	屋上
8	ガスケット	外部 屋上受水槽配管	屋上
		内部 トイレ内配管	2-1-1室
		内部 脱衣所配管	2-1-1室
9	防水材	外部 屋上アスファルト防水	屋上
10	石膏ボード	内部 内装材	2-4-1室
11	ケイカル板	内部 室内天井	2-1-1室
		内部 トイレ天井	2-1-1室
12	断熱材	内部 外壁側ボード内	2-1-1室

## 分析調査必要箇所一覧

## 幕張宿舎 3号棟

No.	建材名	場所（部位）	採取場所
1	仕上塗装	外部 南面	外壁南面
		内部 壁面	3-1-1室
		内部 天井	3-1-1室
2	シーリング材	外部 西面	外壁西面
3	クッションフロア	内部 廊下	3-1-1室
		内部 トイレ	3-1-2室
4	ソフト巾木	内部 トイレ	3-1-1室
5	フレキシブルボード	バルコニー 隔て板	3-2-1室
6	100角陶器質タイル (下地材・接着剤)	内部 浴室	3-1-1室
		内部 キッチン	3-1-1室
7	保温材	共用部 PS内配管	3-2-1室前
		外部 屋上受水槽配管	屋上
		共用部 露出配管	3-2-1室前
8	ガスケット	外部 給水ポンプユニット	外部
		外部 屋上受水槽配管	屋上
		内部 トイレ内配管	3-1-1室
		内部 脱衣所配管	3-1-1室
9	防水材	外部 屋上アスファルト防水	屋上
10	石膏ボード	内部 内装材	3-4-1室
11	ケイカル板	内部 室内天井	3-4-4室
		内部 トイレ天井	3-1-1室
12	断熱材	内部 外壁側ボード内	3-1-1室